

令和8年度予算 総額 118億6,850万円 今年度の主な事業・予算の内訳は？

予算は、4月1日から翌年の3月31日までの一年間に、町がどんな事業にどれくらいの経費をかけて行うかを示すもので、一般会計と特別会計、企業会計の3つからなっています。ここでは、今年度の町の主要事業を紹介します。なお、予算の詳細は3ページをご覧ください。

コミュニティ支援員事業 467万円

地域コミュニティ組織の活動を支援するため「地域みらいづくり会議（関連記事7ページ）」の取り組みを通じて、地域の状況の把握、地域の在り方に関する話し合いの促進、話し合いから生まれた活動の実践に向けた伴走支援を行います。



母子保健事業 9,249万円

妊婦のための支援給付、妊産婦・乳幼児健診、産前産後サポートなど母子保健活動の充実を図ります。妊娠期から子育て期にわたり支援を切れ目なくワンストップで提供し、安心して妊娠・出産・子育てができるよう体制を整備します。



DX推進事業 560万円

総務省の実施する「地域活性化企業人制度」を活用し、町のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するため、民間企業から人材派遣を受けています。DX推進計画の策定と人材育成を進めます。



老人福祉総務事業 9,170万円

シルバー人材センターなどの運営補助、こびりっこサロンなどの地域介護予防活動の支援、地域包括支援センターの運営、生活支援コーディネーターの体制整備など老人福祉の充実を図ります。



児童館維持補修事業 2,364万円

令和7年度に策定した「矢巾町児童福祉施設長寿命化計画」に基づき、児童福祉施設の維持補修を実施します。煙山児童館の屋根外壁塗装工事、徳田児童館の床板修繕工事、不動児童館の空調設備整備工事を実施する予定です。



地域防災事業 1,131万円

国の「地域未来交付金 地域防災緊急整備型」を活用して避難所にスポットクーラーを5台購入します。可搬式のクーラーを導入することにより、災害時における避難所環境の充実を図ります。



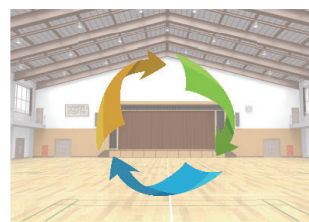
林業振興事業 1,080万円

森林病虫害などの防除業務や民有林保育間伐業務を継続するほか、県民参加の森林づくり促進事業補助金を活用し、クマ対策として民有林獣害緩衝帯の整備を実施します。



中学校体育館空調整備事業 3,310万円

学校施設環境改善交付金および防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債を活用し、矢巾中学校と矢巾北中学校の体育館に空調設備を整備します。完成・運用開始は令和9年度の夏以降となる予定です。



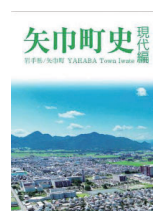
道路新設改良事業 1億2,735万円

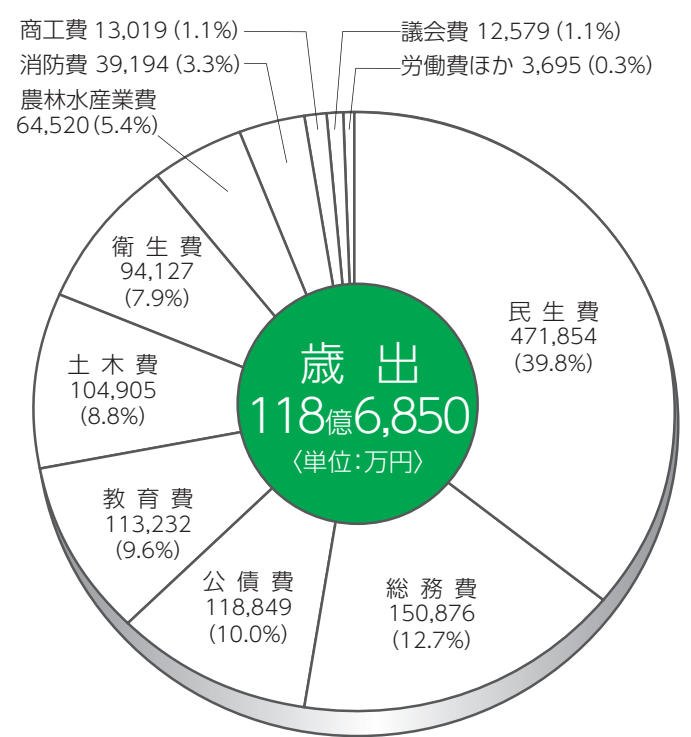
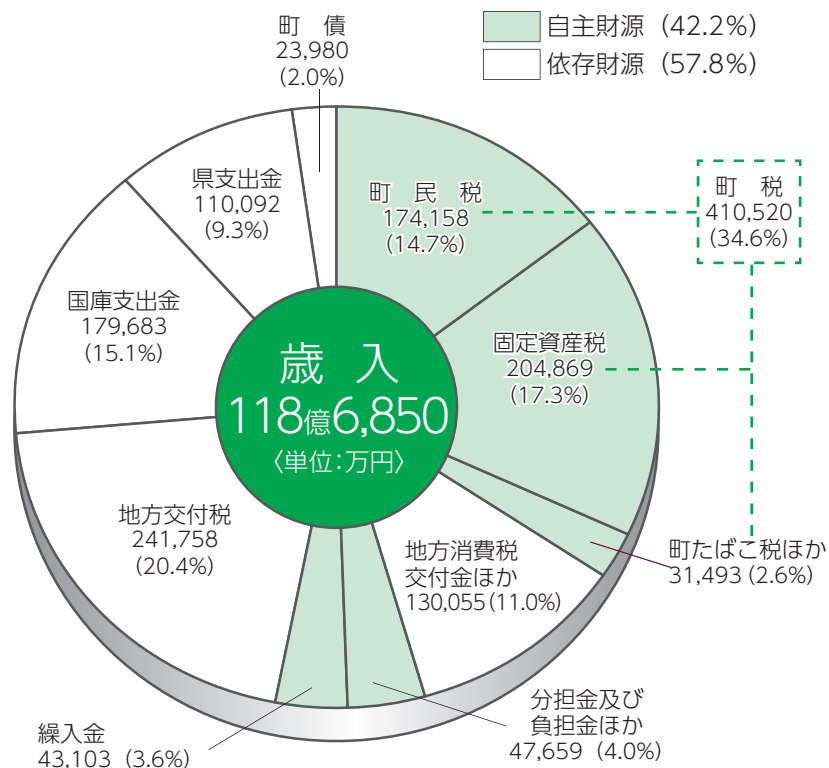
町道矢次線道路改良事業について、現在使われている道路に接続する工事と舗装工事を実施し、令和8年度中の開通を予定しています。



矢巾町史編さん事業 1,112万円

町合併70周年を記念して制作した矢巾町史の補足資料として、矢巾町史現代編の写真集を制作します。完成後は一般販売する予定です。





一般会計予算

一般会計は、町の基本的な収支についてまとめた予算となります。
第8次矢巾町総合計画前期基本計画の3年目となる令和8年度は投資的経費を抑制しつつ、人件費や物件費などの高騰に対応するため、前年度に対して5,600万円増額の118億6,850万円となりました。

歳入 町に入るお金

自主財源である町税は、個人所得の増加に伴い個人町民税が増となり、固定資産税も増収が期待されるなど、町税全体では約1億1,000万円の増額となる見込みです。

自主財源

町が自分たちで集めるお金。町民の皆さんが納める税金などで、住んでいる町に納める「町民税」、土地や家などの不動産を持っている人に掛かる「固定資産税」などがあります。

一般的に自主財源の比率が高いと財政的に自立し、安定しているとされています。今年度は前年比約4億5,438万円の減額となり、自主財源の割合は4・1割減少し42・2%となりました。

依存財源

国や県など、町の外からもらえるお金。例えば、グラフにある地方交付税や国庫支出金は国から、県支出金は県から町へ交付されるものです。

特別会計・企業会計予算

3特別会計で、総額53億7,575万円です。また、企業会計である上・下水道事業会計は、総額で33億3,481万円です。

令和8年度特別会計・企業会計の予算 単位:万円(千円を四捨五入)

特別会計	予算額
国民健康保険事業	236,323
介護保険事業	261,467
後期高齢者医療	39,785

企業会計	予算額
水道事業	収益的支出 81,729
	資本的支出 57,269
下水道事業	収益的支出 110,106
	資本的支出 84,377

●特別会計 各種事業のうち、保険や医療などの特定の目的がある会計です。一般会計とは切り離し、例えば国民健康保険事業では国民健康保険税など特定の収入により事業が成り立っています。

●企業会計 町が受益者からの収入を基に、企業として経営する事業です。

歳出 お金の使い道

主要な事業として2ページのものがあるほか、かんがい整備事業、電子計算業務運営事業、ごみ処理場運営事業、岩手県後期高齢者医療広域連合運営事業、^{きょうりょう}橋梁維持補修事業などが大幅な増額となっています。

今年度の予算
町民1人当たり 455,307円

※一般会計予算の歳出を26,067人(令和8年3月1日現在)で算出

民生費  181,016円	総務費  57,880円
--	---

- 民生費
福祉や生活支援に使う費用
- 総務費
自治体運営の管理費用

公債費  45,594円	教育費  43,438円
---	---

- 公債費
借金返済に充てる費用
- 教育費
学校や教育に関わる費用

土木費  40,244円	衛生費  36,110円
---	---

- 土木費
道路や橋などの公共整備費
- 衛生費
健康維持や衛生管理の費用

消防費ほか  26,274円	農林水産業費  24,751円
---	--

- 消防費
火災防止や救急活動費用
- 農林水産業費
農業などの産業振興の費用